

〈名画の扉〉

大川美術館から



「マーン・ヴァルアイン(悪霊の日)」

1893、94年、木版(後刷り)、
1921年、20・1センチ×35・1センチ

ポール・ゴーギャン (1848～1903年)

フランス人画家ポール・ゴーギャンは、近きまされていきます。画
代文明を嫌い、1889 園であったのか、その
1年に南太平洋のタヒ 答えは簡単ではありません
チ島に移住。1年後パ せん。文明がすすんだ
リに帰り個展を開催、 からといって、幸福に
しかし評価は芳しいも なるわけではないと
ではありませんでし 知ったからです。

た。そこで、タヒチで 人間は戦争を繰り返
の滞在記「ノア・ノア」 し、ついには現在当館
の執筆をはじめ、それ で展示中の「原爆の図」
に自作の版画を加える のような戦禍をもたら
ことにしたのです。10 す。また、今のコロナ
点の木版画を制作、こ 禍、まだ人間が治める
こに紹介する作品はそ ことができなことが
のなかの一点です。 あるのです。その意味
暗闇のなか火を囲み でも、ゴーギャンの悩
ながら座って語りあう みは、時代をこえて示
もの、踊るものなど、 唆的ではないでしょう
夜を過ごす人々の姿が か。

(田中)